

白川郷・五箇山

(富山県南砺市)

(岐阜県白川村)

注目ポイント！

世界遺産白川郷・五箇山合掌造り集落を核とした観光振興
地域住民の発意と熱意による地域づくり



世界遺産白川郷・五箇山を中心に近年安定的に200万人の観光客が訪問！



合掌づくり集落のライトアップ

コラム

旧利賀村役場在勤中、観光資源の乏しかった過疎の村において、いち早く都市農村交流に取り組み、「そば」による村おこしと、そばの原産地であるネパール王国ツクチェ村との交流を通じて、独自の観光資源づくりを行う等、地域の活性化と観光振興に大きく貢献している。



観光カリスマ 中谷 信一氏
(南砺市市長公室次長)

これまでの経緯

- | | |
|-------------|--|
| 昭和60年(1985) | 第1回利賀そば祭りを開催する。 |
| 平成2年(1990) | そば資料館、体験館、食堂の複合施設「そばの郷」がオープンする。 |
| 平成3年(1991) | ネパール文化の発信施設「瞑想の郷」(旧利賀村)がオープンする。 |
| 平成4年(1992) | 世界そば博覧会が開催される。 |
| 平成6年(1994) | 菅沼・相倉合掌造り集落が重要伝統的建造物群保存地区に選定される。 |
| 平成7年(1995) | 白川郷・五箇山の合掌造り集落が世界遺産に登録される。 |
| 平成16年(2004) | 白川村が日本一美しい景観づくりを目指して景観条例を制定する。 |
| 平成17年(2005) | 白川村が世界遺産家屋「トゥルッリ」の数多く残るイタリア「アルペロベッコ市」と姉妹友好提携を締結する。 |
| | 白川村ほか関係者により自然学校の運営を開始する。 |
| 平成18年(2006) | 冬のライトアップイベントが白川村20回目、五箇山8回目を迎える。 |

主な取り組み

世界遺産合掌造り集落

世界遺産に登録された白川郷・五箇山の合掌造り集落。特徴的な建築様式の合掌造りのみならず、小川の流れや田圃のあぜ道、目に映る景色すべてを、昔のまま今も大切に受け継いでいくために、地域住民が民宿(白川郷荻町21軒・五箇山18軒)経営等を通じて、美しい景観の保存にたゆまぬ努力を継続。



利賀そばまつり

道路脇の雪壁に数千もの小さなかまくらを掘り、ローソクを灯した幻想的なエントランスやライトアップされた雪像等を村民総出で造り上げ、観光客を迎える「そば祭り」を開催。

体験型・滞在型ツーリズムの核として旧利賀村が建設した「そばの郷」は観光客で賑っており、そばによる通年型観光地づくりに成功。



豊かな自然の学校体感

平成17年に白川村ほか関係者で設立されたNPO法人が自然学校を運営。一年を通じて自然体感による地域に根ざした環境教育を広く展開。17年度の村内宿泊人数を対前年比26%押し上げる要因に。



自然学校

瞑想の郷

そばの原産地であるネパール王国ツクチェ村との交流を通じて得た「曼陀羅」を村おこしに活用すべく、旧利賀村が「瞑想の郷」を建設。国内観光客の誘致の他、ネパール王国の研修生との交流の場としても活用。



研修生との交流

問い合わせ先

白川村産業課

Tel : 05769 - 6 - 1311 <http://shirakawa-go.org/>

南砺市観光課

Tel : 0763 - 23 - 2019 <http://www.city.nanto.toyama.jp/webapps/www/index.jsp>